65歳以上の方に知ってほしい！

肺炎球菌とワクチンについて

肺炎球菌とは？

肺炎は**日本人の死因の第5位**であり、その肺炎を起こす細菌で**最も多い**のが「肺炎球菌」です。せきやくしゃみで人から人へ広がり、肺炎のほか、菌血症や髄膜炎など命にかかわる重い感染症を起こすことがあります。特に**65歳以上の方や持病のある方**は、重症化しやすいため注意が必要です。

肺炎の原因菌

第1位

肺炎球菌

肺炎球菌がおこす病気は？

おもな症状は**せき、たん、発熱、息苦しさ**などです。高齢の方では熱が出にくく、「なんとなく元気がない」「食欲がない」といった症状だけのこともあります。菌が血液や脳を包む膜に入りこむと、**菌血症や髄膜炎**などの重い感染症となり、命にかかわることがあります。

市中肺炎

ふだんの生活の中でかかる肺炎です

原因菌の第1位

誤嚥性肺炎

食物や唾液を誤嚥す事で生じます

肺炎球菌は主要な原因菌の一つです

敗血症

菌が血液に入り、全身に広がります

命にかかわることも

髄膜炎

脳や背髄を包む膜に感染します

後遺症が残ることも

重症化しやすい人は？

次のような持病がある方は、肺炎球菌の感染症が重くなりやすいといわれています

- 心臓の病気（心不全など）
- 肺の病気（COPD・喘息）
- 糖尿病（治療中の方）
- 腎臓の病気（透析中の方も）
- 免疫の低下（抗がん剤など）

ワクチンの種類と違い

ワクチンごとに、対象となる菌の「型」が違います。重い肺炎球菌感染症の原因となった型を、**どれだけ含むか（カバー率）**を示します。

ニューモバックス（23価）	プレベナー20（20価）	キャップバックス（21価）
51%	50%	78%

接種の方法

プレベナー20・キャップバックスとも、**1回の筋肉注射で接種が完了します。**

以前にニューモバックスを接種した方も、**1年以上**あければ接種できます。

ワクチンの安全性

注射部位の腫れや痛み、筋肉痛のほか、発熱や倦怠感が出ることがありますが、**多くは数日以内に改善します。**

どのワクチンを選べばいい？

年齢やこれまでの接種歴によって、おすすめのワクチンが変わります。ニューモバックスは**効果が約5年で弱まる**ため、くり返し接種が必要なワクチンです。**接種歴がわからない方も、お気軽にご相談ください。**

65歳の方

定期接種

（ 市から接種券が届いている方 ）

プレベナー20

自己負担 5,500円
定期接種は生涯で1回

66歳以上の方

任意接種（自費）

2種類から選択

プレベナー20または
キャップバックス

接種歴がある方

ニューモバックスなど

1年以上あけて

プレベナー20または
キャップバックスを追加

肺炎球菌ワクチンの費用

定期接種対象者：市から接種券が届いている方

定期接種（65歳）	自費　プレベナー20	自費　キャップバックス
5,500円	12,000円	14,000円

当院では、65歳以上の方には肺炎球菌ワクチンの接種をお勧めしています。
ご希望の方・接種歴がわからない方は、医師にお伝えください。

予約はこちら
0798-48-8030

出典：日本呼吸器学会ほか「65歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方（第8版）」（IPD・2022～24年）